

【探究】「南高 × 東京大学」 四日市南高校で東大のゼミ！

東大教養学部で大人気の「宇野ゼミ」に、2年数理科学コース南高生が参加！

9月16日(水)、2年数理科学コースの生徒80人と、大手シンクタンクの第一線で活躍され、東京大学の人気ゼミ(宇野ゼミ)を主宰される宇野健司先生(東京大学・京都大学 講師／MBA、文部科学省「産学連携教育イノベーター育成コンソーシアム」顧問)との「知的コミュニケーション」の場を設けました。



正解のない課題に向き合うための実践的な思考プロセス(ケース・スタディやディスカッション手法)等について学ぶことをとおして、将来やキャリア形成について、当事者意識を高めながら、深く考える機会となりました。

■ 大学合格の「その先」を見つめる思考のアップデート

社会に出ることの意味や「なぜ勉強するのか？」という本質的な問いや、様々なワークに、頭をフル回転させながら、グループワーク、全体での発表等に取り組みました。

宇野先生から贈られた数々の金言(著作権への配慮が必要ですので、内容の掲載はご容赦ください)に、南高生たちは深く頷きながらメモをとり、単なる知識の習得にとどまらない「マインド・セット」について、学びました。

■ 笑顔と積極的な発言が飛び交ったディスカッション、活発な質疑応答

「意見を発しないことは、居ないことと同じ」という主体性のスローガンのもと、南高生たちはリラックスした笑顔でディスカッションに参画。互いの考えに耳を傾けながら次々と挙手し、自分の言葉で堂々と意見を伝える熱いやり取りが繰り広げられました。



宇野健司先生、お忙しいなか素晴らしい学びの機会をいただき、ありがとうございました。